



2024年6月19日(水)開催
- 世界難民の日アイデアソン2024-
本気で考える『ビジネスと人権』
～ 難民と出会い、新たな未来を創発する ～
イベント協賛企業の募集について

特定非営利活動法人WELgee

ver 5.0 2024.4.17
Non Profit Organization WELgee



2024年の世界難民の日に向けて

難民当事者たちとともに、人権課題を解決する ビジネスアイデアを考える、特別アイデアソンを開催します！

気候変動や武力紛争など、世界では1億人以上が故郷を追われ、第二次世界大戦以降、過去最高を更新しました。難民は「すべての人間が、人間の尊厳に基づいて持っている固有の権利」という「人権」という権利を奪われた存在でもあります。と同時に、難民の方々は**世界の人権課題を経験してきた当事者**でもあります。

世界経済を見てみると、**ガザでの人道危機や新疆ウイグル自治区における人権問題、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など、人権問題が国際経済に大きな影響を与える時代となり、企業にかつてないほどの人権対応が迫られる時代**になりました。

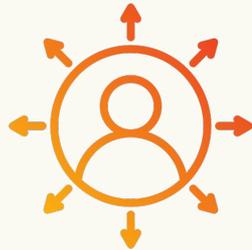
その中で、**人権に無関心な企業は市場から締め出されるリスクがあるとも言われます**。その一方で、ビジネスにおける人権対応には、リスクマネジメントを中心とした「守り」だけでなく、**新たな事業機会を創出する「攻め」の視点も存在**します。

8年間で400名以上の難民当事者の人生を再建した WELgeeは、**様々な国の人権問題を体験し、その解決を目指してきた当事者の難民の方々と、日本企業の次世代を担う次期幹部候補の方々が、ともに新たなビジネスアイデアを考えるアイデアソンを開催**します。



アイデアソンのコンセプト

難民当事者の方の視点や経験を活かして、人権の保護や、尊重に主眼を置かれて開発された新たな商品やサービスを考えてみることに挑戦するアイデアソン



難民当事者

(Refugee Talents)
-社会課題の最前線での経験
-母国と日本をつなぐ視点

日本のビジネスリーダーと一緒に事業を構想するリーダーシップトレーニングの機会



Business Leader

-異企業・異業種の経験
-自社のアセットを活かした社会課題解決を模索

ビジネスと人権に関する理論的・実践的知識や経験を得られる



WELgee Member

-Refugee Talentsの心理的安全性の担保
-グループのファシリテーター

持つ経験

得られること

アイデアソンの流れ

1日のイベントを通じて、レクチャーを受け、チームアップをし、4-6名の異業種x難民当事者を含めたチームで人権課題を解決するビジネスソリューションをつくります

①レクチャーを受ける

Checkinやオウルズコンサルティングさまからのビジネスと人権に関する講座の受講、ウォームアップを行う



②チームに分かれる

難民当事者1名、企業人3~4名
WELgeeのファシリテーター1名のチームに別れます



③ アイデアソンを実施

お題をもとに、フレームワークを埋める形でビジネスと人権に関するビジネスアイデアを考えます。



イベントタイトル

世界難民の日アイデアソン2024

本気で考える『ビジネスと人権』～ 難民と出会い、新たな未来を創発する～

開催日時

6/19(水曜) 10:00 ~ 17:00

※ 懇親会を17:00 ~ 19:00頃開催予定です

開催場所

アクセンチュア・イノベーション・ハブ東京

主催・協力・後援

主催: NPO法人WELgee 企画協力: 株式会社オウルズコンサルティンググループ

後援: 公益社団法人経済同友会、公益社団法人日本フィランソロピー協会

協賛: アクセンチュア株式会社、デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社

メディアスポンサー: ジャパンタイムズ (The Japan Times)

目的

・企業社員が難民当事者ととともに人権ビジネスの事業アイデアをつくるプロセスを体験することで、「ビジネスと人権」の社員の理解を深め(思考)、発想プロセスを体感(身体)する。

当日の流れコンテンツ

・第一部 ビジネスと人権に関する知識共有

アイデアソンの趣旨説明 / ビジネスと人権の理論と人権ビジネスの発想法 / アイデアソンで用いるデザインフレームワークなどを共有します。

・第二部 グループでのアイデアソンと発表準備

各グループ6名(難民当事者1名 + 企業人3~4名 + WELgee担当者1~2名)ずつに別れてグループを作成。各参加者の経験やアイデアを最大限活かして、テーマに基づくアイデアを議論し、考案します

・第三部 アイデア発表とリフレクション

イベント内で生み出したアイデアをチームごとに共有し、評価し合います。イベント中の議論を各チームで振り替り、個々人のダイバーシティ&インクルージョンの意識を内省・深掘りをするリフレクションを行います。

※ アイデアソン後には、懇親会を予定しています。※ WELgeeメンバーは各グループのファシリテーター / 言語サポート役として参加します。※ 企業人の構成については、別企業社員がなるべく関わりかつグループでの議論がしやすい形で調整いたします。

参加予定者

アイデアソン参加者

(難民参加者)10名の難民人材(就職した方や就活中の方を含む)
(企業参加者)40名・20社の日本企業の次期幹部候補の社員の方々
(ファシリテーター・通訳サポート等)WELgee職員
(メディア関係者)当日取材を行われるメディア関係者

アイデアの発表会時には、WELgeeに関係する企業人や寄付者などが参加する予定です。

1、協賛の費目について

拠出項目は、寄付・協賛(事業費)いずれの費目でも構いません。(ご相談ください)

2、協賛の用途について

協賛費用については、本イベントの開催費用だけではなく、弊団体の難民の人生再建のための事業運営と組織体制強化等のためにも使わせていただきます。

3、参加する社員の方々について

協賛企業様は、協賛メニューに応じた人数の社員の方々の送り出しができます。

イベントへのご参加については、終日参加が望ましいのですが、業務の関係で途中抜けが必要な場合なども可能です。また、今回のアイデアソンのディスカッションやプレゼンテーションの主旨は英語で行いますが、難民の方々も第二言語で英語を使っている方がほとんどです。完璧な英語である必要はないので、意欲と関心のある社員さんであれば厳密な英語力は問わずご参加大歓迎です。

4、参加規約について

参加者には、アイデアソンに参加する方々に向けた注意事項を記載した参加規約にサインをいただきます。

お問い合わせ先

本イベントの企業協賛にご興味のある方は info@welgee.jpまで(件名)
「世界難民の日アイデアソン協賛」と件名にお書きいただき、お問い合わせください。

難民の方々にとっても、成長に繋がる場

10名の難民当事者の方々も参加する当ディスカッションは、
当事者の方々にとっても学びや、企業人の方との重要な繋がりを得ることができる場です。

参加する
難民当事
者の例

就職活動を頑張る難民当事者



例) 母国でのビジネス経験や意欲はあるものの、日本語の壁など、就職活動で奮闘している人材の方

参加して
得たもの

- ・ 普段交流機会のない、日本の企業人との交流機会
- ・ 日本で今後キャリアを形成して行く際に、自分自身に足りない点や強みを把握する機会

昨年度の当
事者の声

“日本の企業人への適切な振る舞い方を懸念していましたが、とてもフレンドリーで温かい場でした。日本企業で働く経験を知ることができ、私の経験を伝えることができました” (20代、アフガニスタン出身、女性)

企業で活躍する難民当事者



例) 日本企業や組織に所属し、日本と母国との架け橋として活躍する人材の方

- ・ 事業アイデアを日本のビジネスパーソンとともに議論することで、視座が高まる
- ・ 他業種のビジネスパーソンとの交流による刺激・創発・モチベーション向上

“このイベントに参加するのはとても興味深かったです。難民の方々と、ビジネスパーソンとの間の信頼構築や将来の協力にとって非常に良い機会になりました。” (20代、ウクライナ出身、女性)

協賛メニューのご提案

難民当事者の方の育成機会と、貴社社員の方の学びや広報機会に繋がる本イベントに協賛しませんか？

協賛の3つのメリット

-グローバルリーダーを育てるための社員育成機会&貴社の広報機会-

(01)

グローバル環境 x 多企業でのディス カッションで社員育 成に繋がります

難民当事者の方を含めたディスカッションは、英語を用います。英語で人権課題の解決のための事業アイデアを多企業混合のチームとともに考える、非常に難易度の高いアイデアソンは、貴社の新規事業担当者などの次期幹部候補を育成する絶好の機会となります。

(02)

人権課題解決のため の事業アイデアを 得られる

難民当事者の方々が持つ多様な属性（intersectionality、属性交差性）は、自社の人権やサステナビリティ・ESGに関する事業開発の際に重要な示唆をもたらします。アイデアソンを通じて、自社の事業アイデアのヒントを得ることができます。

(03)

世界的な課題に取り 組む姿勢を社内にア ピールできる

世界難民の日は、国連が定めた世界的な記念日です。本イベントへの参加実績や難民の日について自社の統合報告書やWebサイト、社内報などで伝えることで、自社が世界的な取り組みを行っていることを社内の従業員の方々に共有できます。

プラチナパートナー
(協賛大)

ゴールドパートナー
(協賛中)

シルバーパートナー
(協賛小)

協賛費用

3,000,000円(税別)
※ 3社限定

1,000,000円(税別)
※ 3社限定

500,000円(税別)
※ 2社限定

アイデアソン参加
可能人数

6名まで

4名まで

2名まで

共同取材での
出席権※



×

×

各所への
ロゴ掲載



WELgee
年次報告会
へのご招待



※ 各協賛社数は変動する場合がございます
※ 共同取材の出席権については定員が余る場合には、
協賛中・小の皆さまに打診する可能性もございます。

各メニューの詳細

アイデアソン参加 可能人数

1グループごとに難民当事者、企業人、WELgeeスタッフに別れて、ビジネスと人権に関する事業アイデアを構想するアイデアソンにご参加いただけます。協賛額に応じて、参加可能人数が変動します。

共同取材での 出席権※

任意で、アイデアソン前の共同取材の出席者として、メディアの前で自社の事例をご紹介いただけます。

各所への ロゴ掲載

イベント各所への貴社ロゴを掲載をさせていただきます(任意)

- ・プレスリリース
- ・イベント当日の会場に設置するパネル

WELgee 年次報告会 へのご招待

WELgeeが毎年秋ごろに開催する、寄付者限定の年次報告会へのご招待いたします。

※ 各協賛社数は変動する場合がございます
※ 共同取材の出席権については定員が余る場合には、協賛中・小の皆さまに打診する可能性もございます。

(昨年度) 2023年度の共同取材の様子

協賛企業5社の皆様が、なぜ企業が今難民問題に着目するのか？ 協賛を決めた背景とともに、それぞれの企業のお声を共有いただきました。

参加メディア様：9社

・NHK、TBS、日本テレビ、日経新聞、日経BP、東洋経済新報社、朝日新聞、日本経済新聞社、毎日新聞

登壇企業様：5社

- ・株式会社オウルズコンサルティンググループ様
- ・株式会社商船三井様
- ・シティコンピュータ株式会社様
- ・株式会社セブン-イレブン ジャパン様
- ・パーソルホールディングス株式会社様



(昨年度) 2023年度のメディア露出・広告効果

NHKや朝日新聞などで4本の露出があり、
1,270万円の広告効果がありました。

昨年度の世界難民の日のイベントの実績

【参加メディア：9社】

・NHK、TBS、日本テレビ、日経新聞、日経BP、
東洋経済新報社、朝日新聞、日本経済新聞社、毎日新聞

【報道・特集：4件】

・NHK『おはよう日本/おはBiz』、
報道ステーション、朝日新聞(2件)の3番組/企画で特集



メディア分類	想定視聴者数	広告価値 *1imp = 1円 または広告媒体資料の広告費用で換算
NHKおはよう日本	2,790,000人	279万円分 ※1
報道ステーション	2,910,000人	291万円分 ※1
朝日新聞 (2本で特集)	—	350万円 x 2 = 700万円 ※2
WELgee公式プレスリリース	3,108人	—
WELgee自社SNS	12,000人	—
その他SNS露出 (協賛企業展開等)	50,000人	—
合計	5,634,892人分	約1,270万円分

(昨年度実績) 2023年度の実績

セブン-イレブン様・商船三井様など 13社からの協賛 応援を得つつ、ビジネスリーダー56名と難民人材20 名が交流するキャリア交流会を開催！

・日本に逃れた難民たちが、日本企業のビジネスリーダーとの出会いや、活躍する先輩難民たちとの交流を通して、今後の日本でのキャリアを描くと同時に就職活動に向けた出発地点を踏み出すイベントを開催。

・イベント当日は、日本テレビ News Every、NHKおはよう日本、日経BP、日本経済新聞、東洋経済新報など10社のメディアが参加し、社会から大きな注目を集めました。

・セブン-イレブン ジャパン様の会場で行われたイベントでは採用企業の事例共有や先駆的な取り組みを行う企業事例の共有などが行われました。

『難民の人と働くことで起きうる自分自身の変化と組織の変化』をテーマに、すでに日本企業に就職をした難民の方の就職活動や、就労後の定着のための努力の経験を軸に、参加する企業人が、目の前の難民人材と働くことを想像した時に、自身に起こりうる変化や、組織の変化について、熱い議論が交わされました。

【主催・後援・協賛】 主催：NPO法人WELgee、後援：一般社団法人新経済連盟 メインスポンサー（2社）：株式会社セブン-イレブン・ジャパン/PwCコンサルティング合同会社 パートナーズponsor（11社、うち社名非公開企業1社）： アクセンチュア株式会社 / 株式会社伊藤園 / 株式会社オウルズコンサルティンググループ / キッコマン株式会社 / シティコンピュータ株式会社 / 株式会社商船三井 / パーソルクロステクノロジー株式会社 / 株式会社PR TIMES / 富士通株式会社 / リンクトイン・ジャパン株式会社 (LinkedIn Japan) / 社名非公開企業1社

Copyright NPO WELgee All rights reserved.

WELgee Talents

Refugee Career Demo-day 2023

難民のバイオニア人材×
日本のビジネスリーダー
キャリア交流会

by WELgee

Sponsors: セブン&アイ HLDGS., OWLS CONSULTING GROUP, kikkoman, シティコンピュータ株式会社 CITY COMPUTER Co., Ltd., MOL 商船三井 Mitsui O.S.K. Lines, 伊藤園, PR TIMES, accenture, LinkedIn, FUJITSU, PERSOL, 新経済連盟 Japan Association of New Economy



NPO法人WELgeeとは？

WELgee = WELcome + refugee

活動内容：日本に逃れた難民とともに未来を築く団体です。紛争・迫害などから逃れ日本にやってきた難民たちが、経験や専門性を生かして希望を持って日本で人生を再建するため「就労・キャリア」に特化したプログラムを展開しています。

団体名：特定非営利活動法人 WELgee（ウェルジー）

所在地：東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー27階

代表理事：渡部カンコロンゴ 清花

設立：2018年2月（2016年3月より任意団体として活動開始）

チーム：職員11、インターン・プロボノ60名、顧問弁護士、顧問行政書士

Vision：自らの境遇にかかわらず、ともに未来を築ける社会

◎ 主な受賞歴



ICC サミット FUKUOKA 2022
「ソーシャルグット・カタパルト」優勝 (2022年2月17日)



Forbes Asia
Forbes Japan 30 Under 30 選出



AVPN Youth Opportunity Platform
(アジアにおいて社会的インパクトを生み出す若者プラットフォーム) 選出



Business Insider Japan
『Beyond Sustainability 2022』入賞

